

障害福祉サービス事業所（共同生活援助）ケアホームビブレ

（令和7年度地域連携推進会議） 議事録

開催日時	令和7年7月7日（月曜日）	13：00～14：40
1. 開催場所	社会復帰施設アーム 内 エポレ 地域交流活動室	
2. 出席者	・地域関係者代表 広美町区長 倉橋様 ・経営に知見のある方 経営コンサルタント 鈴木様 ・ケアホームビブレ利用者様 2名 ・ケアホームビブレ利用者ご家族様 1名 ・行政関係 豊田市障がい福祉課 石川様 谷口様 ・福祉に知見のある方 エポレ成瀬様 アーム塩崎様 ・南豊田病院事務長・社会復帰施設アーム施設長 鈴木 ・ケアホームビブレ職員 三浦（管理者）市井（サービス管理責任者） 金井田（世話人）	
3. 会議の内容	①会議の趣旨 ②社会復帰施設アーム設立までの思い ③ケアホームビブレの紹介 ④ケアホームビブレ日常生活の過ごし方 ⑤人員配置	
4. 施設見学	障害者自立支援施設アーム⇒地域生活支援センターエポレ⇒ケアホームビブレ	
5. 意見交換	テーマ『私達施設がより開かれた施設になるため、そして地域の皆さんとの交流を深めていくためには、どうしたらよいか？』 <感想> ・このような会を開いてくれてありがとう。（私たち）精神障害者は世間で色々な偏見を持たれて、変な目で見られる。こういう会でお互いに理解していけると良い。 ・自分は将来的にはここを出たい。アパートに住みたい。（そのままで）受け入れてくれるところ（地域）がいい。 ・家族が現在入院しているが、なかなか難しい病気と思う。グループホームに入ったことで開放感があり、気持ちにゆとりができて家族関係で変化があった。部屋を自分できれいにするなど、生活が整ってきた。いいきっかけを作ってもらえたので、退院後はまたお願いしたいと思っている。 ・利用者の人たちがいいと言っているけれど、本音で言っているのかとも思う。辛いことなどを言える人がいるのか、相談できるのかが心配。そのような事がないように、障害者に対する理解、支える側の理解が必要、一歩ずつ進んで地域でもやっていく事が大切。	

＜地域にお手伝い、関わるのがないか模索している。施設から地域へ、地域から施設にどんなことなら来やすくなるのか＞

・イベント（盆踊りや花火が昔あった）色々な面で人数や規模など、難しいと思うがやりますと案内があれば、回覧板があるので回すことができる。

＜今後企画するときは協力をお願いします＞

（案内の際には回覧板での周知期間を考えて、告知、準備する）

・喫茶店があることを知らなかった。サービス券などを出してくれたりとか、きっかけがあるといいと思う。立派でなかなか入れない。自治区で周知できることはしていきたい。

案内をくれる時は、時期だけを間違えないように２ヶ月前には教えて欲しい。

＜ご意見を持ち帰り、各施設でできることを検討していきたいと思います。＞

＜ビブレとしても色々考え、交通当番の立哨やクリーン活動等を考えています＞

・安全面が気になる。（地区の環境美化活動への参加は）安全を確認したうえで。立哨は今年はほぼ日程が決まっているので、そこに一緒に参加してもらうことは構わない。

＜日程を教えていただき、参加したいと考えています。＞

＜施設で年に２回避難訓練を行っている。一緒に地域の方も避難訓練の参加等は＞

・この地区は水の心配はない。地盤的にも比較的安全性が高い地区。自分の身の安全を最優先にするように伝えるなど、区民には地区での防災対策を案内している。施設側から特別な助けは必要ないかと思っている。

＜私たちはこれから防災についての話し合いをする段階。またご相談させていただきたいと思っています。＞

＜まとめ＞

・地域とビブレの交流のきっかけ作り⇒イベントなど企画ができた時は、回覧板での告知にご協力をお願いします。

・豊田市一斉 交通当番立哨⇒日時を教えて頂き、参加していく方向で考えたい。

・施設周辺のクリーン活動⇒施設で行える時に活動をしていく。

・避難訓練⇒今後訓練参加の協力をお願いしていく。

・次回の地域連携推進会議の日程⇒7月上旬予定。（地区参加者は区長、福祉委員など、地区で検討いただく）